

水稻中期管理講習会 資料

令和4年7月25、26日
JAたかさき
西部農業事務所普及指導課

栽培管理

生育時期	水管理	注意点等
分けつ前期	浅水	<ul style="list-style-type: none">ガスの発生がある場合は、間断かん水を実施し、有機物の分解に伴う根部の機能低下を防止する
分けつ後期 移植後30～35日	中干し	<ul style="list-style-type: none">有効茎数が確保されたら5～7日程度実施土に小ひび（深さ1cm以内）が入り、足跡がつく程度で終了中干しの効果：無効分けつの抑制、根の健全化、倒伏防止 ※コシヒカリ等倒伏しやすい品種→早め（長め） <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"><p>◎1株当たり有効茎数の目安 コシヒカリ、ひとめぼれ：18～20本 あさひの夢、ゆめまつり：20～22本 程度</p></div>
最高分けつ期 田植後37～40日	間断かん水	<ul style="list-style-type: none">中干し後の根は根腐れを起こしやすいので、走り水で徐々に入水し、間断かん水（2日湛水・3日落水）を実施
幼穂形成期 出穂期前25日頃	浅水	
減数分裂期	間断かん水	
穂ばらみ期 出穂期 穂ぞろい期	湛水	<ul style="list-style-type: none">出穂期7日前後は、水を切らさないようにする
乳熟期	間断かん水	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">高温時の水管理 (高温登熟障害対策) で玄米品質の低下を 防ぎましょう</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none">穂ばらみ期以降、出穂後20日間の日平均気温が27℃を超えるとき（最高気温30℃以上、最低気温25℃以上）フェーン現象などで強風が予想されるとき→湛水管理とし、可能であれば、かけ流し、夜間かん水、かん水回数を増やすなどこまめな水管理</div>
黄熟期 出穂後30日以降	落水	<ul style="list-style-type: none">早期落水は登熟阻害の原因となるため、落水は出穂後1ヶ月以降とし、乾燥しすぎる時は走り水を行う

カリの中間追肥

【効果】 登熟歩合の向上・粒の肥大・稈質の強化・根張り向上
→倒伏防止・病害抵抗性の向上・高温登熟障害対策につながる

施用適期：出穂前30～50日

施肥量：ケイ酸加里 30kg/10a、または塩化加里 10kg/10a

穂肥

【効果】 1穂粒数の増加、粒の肥大促進、登熟歩合の向上
稲体の活力維持を行うことで高温登熟障害対策としても有効

品種名	窒素分量(kg/10a)	時期	幼穂長(目安)
あさひの夢 ゆめまつり	2～3	出穂前20日頃	約0.5cm
ひとめぼれ	2	出穂前15日	約2cm
コシヒカリ	1.5～2	出穂前10日	約1～2cm

※葉色が濃い場合などは穂肥の量を調整し、窒素過多で倒伏や病害が発生しないよう注意

雑草防除

雑草の種類や大きさを確認し、除草剤の散布適期を失ないように防除を行う。

適用雑草	商品名	使用時期
ノビエ	ヒエクリーン 1キロ粒剤	移植後15日～ノビエ4葉期 (ただし、収穫45日前まで)
ノビエ、キシュウスメノヒエ、アゼガヤ	トドメMF 1キロ粒剤	移植後14日～ノビエ5葉期まで (ただし、収穫50日前まで)
ノビエ、多年生広葉雑草	アトトリ 豆つぶ250	移植後14日(イネ5葉期以降)～ノビエ4葉期(ただし、収穫45日前まで)
オモダカ、クマガイ、ホトメ、一年生雑草	ツイゲキ 豆つぶ250	移植後20日(イネ5葉期以降)～ノビエ4葉期(ただし、収穫60日前まで)
水田一年生雑草(イネ科を除く)、オモダカ、クマガイ、ホトメ	バサグラン粒剤 (ナトリウム塩)	移植後15～55日 (ただし、収穫60日前まで)
一年生雑草、多年生広葉雑草	アレイルSC	移植後25日～ノビエ5葉期(ただし、収穫45日前まで)

【発生が増えている雑草】

ホソバヒメミソハギ(写真左)、クサネム(写真右)

- ・後発の個体は、早めに中後期除草剤で除草する
- ・それでも取りこぼしがある場合、次作に影響するので、可能であれば抜き取りで除去する



いもち病

※気象状況に注意、早めの防除を

【発生しやすい条件】

- ・平均気温19～25℃
- ・降雨頻度が高く、多湿
- ・夜間の風が弱く、朝露の乾きが遅い
- ・イネが軟弱徒長気味で葉色が濃い

【防除対策】

- ・補植用の置き苗は、速やかに処分する
- ・定期的に観察し、早期発見に努め、葉いもちの初期病斑の発生を認めたら直ちに薬剤防除を行う
- ・穂いもち防除 粒剤：出穂20日前から 液剤：穂ばらみ期及び穂ぞろい期



穂いもち



葉いもち
初期病斑

薬剤例

ゴウケツ粒剤・パック

カスミン液剤

ノンブラスフロアブル

稲こうじ病

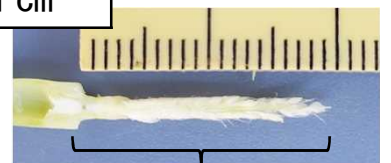
※前年多発ほ場・出穂20日前～出穂期頃の低温・日照不足・多雨で発生しやすい

【防除対策】

- ・適切な施肥、遅効きにならないように追肥にも注意する
- ・発病したもみは早期に取り除く

＜散布予定日をカレンダーに書き込んでみてください＞

- ①稲こうじ病は、薬剤の効果のある時期が限られています
- ②使用する薬剤の種類を選び、幼穂を確認して、散布する日を決めましょう



幼穂長 2 cm

薬剤例

ドイツボルドーA

出穂前15日ころ

幼穂約 2 cm

モンガリット粒剤

出穂前18日ころ

幼穂約 1 cm

紋枯病

※紋枯病の発生は倒伏を助長するため、多発ほ場では防除を行う

【発生しやすい条件】

- ・前年に発病した株に形成された菌核が病気の原因となる
- ・幼穂形成期以降の高温・多湿条件が続くと多発する
- ・窒素過多等で過繁茂・軟弱徒長で発生しやすい

【防除対策】・防除適期：幼穂形成期～出穂期



紋枯病に起因する倒伏

薬剤例

モンガリット粒剤

収穫適期の目安

適期収穫に努め、刈り遅れによる品質低下を防ぐ
コンバイン収穫は、籾水分25%以下になってから行う
積算温度や帯緑色籾歩合は参考とし、籾水分を見ながら総合的に判断

品種ごとの収穫適期（水分25%以下）目安		
品種	出穂後の積算温度	帯緑色籾歩合
あさひの夢	1000℃～1100℃	10%
ゆめまつり	1000℃～1150℃	20%
コシヒカリ、ひとめぼれ	950℃	10%

※出穂後の積算温度・・・出穂期以降の日平均気温を足し上げた数値

※帯緑色籾歩合・・・穂の中で一部でも緑色の籾の割合

乾燥・調製

脱穀籾は含水量が高く変質しやすいため、計画的に刈取り
収穫後すみやかに乾燥を行う

- 籾の水分含量が18%までは通風のみで乾燥、その後送風温度40～50℃以下、穀粒温35℃以下を目安に加温乾燥し、定期的に水分含量を調べる
- 水分目安

仕上がり水分含量	もみ	14.0～14.5%
	玄米	14.5～15.0%

※過乾燥は同割れ米を増加させ、食味を低下させるので注意する

- 米選機の網目は1.80mm以上とし、整粒歩合80%以上を目標とする

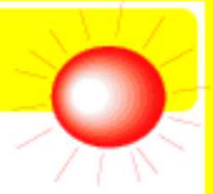
3か月予報 関東甲信地方（7/19発表）

	平均気温	降水量	天候見込み
8月	高い	ほぼ 平年並	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
9月	高い	ほぼ 平年並	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
10月	平年並か 高い	平年並 が多い	天気は数日の周期で変わりますが、気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう

※本資料記載農薬は、令和4年6月22日現在登録のあるものです。

- ◎農薬使用時は、ラベルを確認し、使用時期・使用方法・使用量を遵守しましょう。
また、周辺に飛散させないように注意しましょう。
- ◎農作業時の事故には十分に注意しましょう。
- ◎熱中症に注意して無理の無い作業を心がけてください。

夏の農作業で心がけること

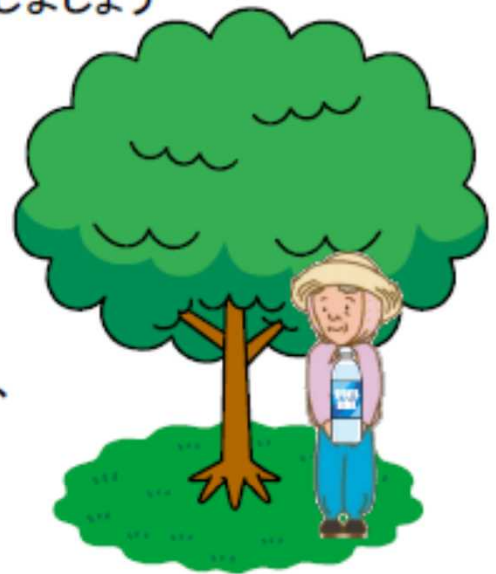


1. 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行いましょう

- ☀ 特に70歳以上の方は、のどの渇きや気温の上昇を感じづらくなるので、高温時の作業は極力避けましょう

2. 作業前・作業中の水分補給、こまめな休憩をとりましょう

- ☀ のどが乾いていなくても20分おきに休憩し、毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給しましょう
- ☀ 足がつったり、筋肉がピクピクする症状がみられたら、0.1～0.2%程度の食塩水（1Lの水に1～2gの食塩）、スポーツ飲料、塩分補給用タブレットを摂取しましょう
※市販品を摂取する際は、必ず成分表示をチェックし、適切な量を摂取してください。
- ☀ 休憩時は、日陰等の涼しい場所で休憩し、作業着を脱ぎ、手足を露出して体温を下げましょう



3. 熱中症予防グッズを活用しましょう

- ☀ 屋外では帽子、吸汗速乾性素材の衣服、屋内では送風機やスポットクーラーなどを活用しましょう

4. 単独作業を避けましょう

- ☀ 作業は2人以上で行うか、時間を決めて水分・塩分補給の声かけを行うなど、定期的に異常がないか確認し合うようにしましょう

5. 高温多湿の環境を避けましょう

- ☀ 暑さ指数(WBGT)計、温度計、湿度計で、作業環境を確認しましょう。
- ☀ 作業場所には、日よけを設ける等できるだけ日陰で作業をするようにしましょう
- ☀ 特にビニールハウス等の施設内は風通しが悪く、早い時期、早い時間から暑さ指数(WBGT)が高くなるため、風通しを良くしたり断熱材を活用しましょう

熱中症が疑われる場合の処置

1. 暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断しましょう

☀ 代表的な症状は以下のとおりですが、熱中症には特徴的な症状がなく、「暑い環境での体調不良」は全て熱中症の可能性がります

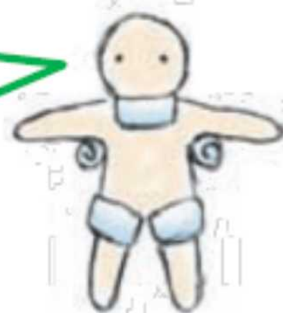


2. 応急処置を行いましょ



- ☀ 涼しい環境へ避難しましょ
- ☀ 服をゆるめて風通しをよくしましょ
- ☀ 水をかけたり、扇いだりして体を冷やしましょ
- ☀ 水分・塩分を補給しましょ

脇の下、両側の首筋、足の付け根を冷やすと効果的です



3. 病院で手当を受けましょ

☀ 意識がない場合、自力で水が飲めない場合、応急処置を行っても症状がよくなる場合は、すぐに病院で手当を受けるようにして下さい

